

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.10.29-11.02

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月29日(月)  
中国生産3割減、22万台  
日系自動車6社/9月不買運動広がる

日系自動車メーカー6社の9月の中国生産が、前年同期比約3割減の約22万台となった。日中関係の悪化によって中国で日本車不買運動が広がった。販売減に合わせた大幅な生産調整。(6面)

日本車メーカーの9月の中国生産・中国向け輸出		
社名	中国生産	中国向け輸出
トヨタ	47,253(▼41.9)	7,805(▼22.5)
日産	90,394(▼20.4)	1,419(▼38.7)
ホンダ	50,735(▼20.7)	-
三菱自	2,304(▼30.5)	1,188(▼65.1)
マツダ	13,413(▼13.7)	1,065(▼44.0)
スズキ	17,000(▼46.0)	-
富士重	-	3,426(▼47.7)

単位：台数。カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス。ホンダは中国向け輸出はなし、スズキの中国向け輸出は非公表、富士重は中国現地生産なし



寧波三菱化学が運営するPTAプラント(中国浙江省寧波市)

部長以上4000人のDB化  
三菱ケミカル/中・米に人事担当

三菱ケミカルHDは、傘下企業の海外子会社を含めた部長級以上の日本人と外国人社員約4000人のDBを2013年度中に作成する。中国と米国の現地子会社に人事担当責任者を配置。(1面)

シリコーンゴム、中国フル生産  
信越化学/年2万5000トン

信越化学工業は、2013年1月から中国でシリコーンゴムをフル生産する。江蘇省南通市の工場の生産能力は、年間約5000トン。12年初稼働予定だったが技術的な課題で計画が遅れた。(12面)

ASIA

10月29日(月)  
東芝機械、新興国に現法  
インドネシア・ブラジル/射出成形機

東芝機械は、2012年内から来年初にかけてインドネシアとブラジルに現地法人を設立する。現地の自動車関連メーカー向けなどに射出成形機やダイカストマシン、工作機械の販売を強化。(1面)

エアアジア、成田 ソウル就航  
成田 釜山は来月開設

格安航空会社のエアアジア・ジャパンは、初の国際線として成田 ソウル線の運航を開始した。運賃は片道6980-2万9980円で、当面1日1往復運航。来月には、成田 釜山線も開設する。(2面)

協和合金、インドネシア進出  
MT部品/年産600万個

協和合金は、インドネシアで手動変速機(MT)を構成する部品であるシンクロナイザリングを生産する。年産600万個。日系自動車メーカーからの要請を受けての進出。(6面)

平出精密、タイに板金加工工場  
試作・研究開発/日系向け

平出精密は、タイのサムットプラカーン県に精密板金加工工場を新設し、12月をめどに稼働させる。日系向けに試作や変種変量、研究開発向け精密板金加工の需要が高まると判断。(6面)

ジャカルタに駐在員事務所  
産業機器/シンフォニアテクノ

シンフォニアテクノロジーは、インドネシアのジャカルタに駐在員事務所。産業機器の販売・サービスの支援や情報収集。周辺国の成長も見据え、現地法人化や製造拠点設置も検討する。(10面)

タイでアミノ酸生産  
協和発酵バイオ/2015年後半

協和発酵バイオは、タイでアミノ酸生産を2015年後半に始める。ラヨーン県に工場を建設。健康食品などの原料となるアミノ酸は世界的に市場が拡大。日米中の生産拠点をタイに加える。(12面)

タイのガス発電で融資契約  
998億円/JPパワー

JPパワーは、タイのガス発電事業計画で、国内外の金融機関とプロジェクトファイナンス契約。アユタヤに出力160万キロワットのガス火力発電所に総額12億4700万

ドル(約998億円)の融資契約。(16面)

10月30日(火)  
ピックアップ、新興国を開拓  
いすゞ/タイ新工場稼働

タイをピックアップトラック事業の戦略拠点と位置づけるいすゞ自動車。タイ新工場を稼働。年産能力を約5割増の40万台に引き上げた。新興国向け輸出拠点としての機能を高める。(6面)

日系メーカーのタイでのピックアップトラック生産を巡る最近の動き	
いすゞ	新工場が稼働し年産能力が倍増の計40万台に
トヨタ	11年8月に年産能力を約3割増の計45万台に
日産	14年に新工場を稼働させ年産能力を現行22万台から10万台規模で引き上げ
三菱	13年度に年産能力を10年度比約5割増の23万台に
マツダ	5月、年産能力を1万台増の7万台に

\*いすゞ、トヨタ、三菱自は生産能力の一部スポーツ多目的車(SUV)を含む。日産の年産能力は乗用車を含む合計

クボタ、タイで鋳物部品を増産  
ディーゼル用/2.5倍年3万トン

クボタは、タイで立型ディーゼルエンジン用の鋳物部品を増産する。2013年10月までに年間生産能力を2.5倍の3万トンに引き上げる。合わせて増員も検討。約100人を新規採用する。(7面)

クラウド、多国籍企業に照準  
NTTデータ/空白地域でM&A

NTTデータは、クラウドコンピューティングを海外展開する。グループが統一ブランドで提供する。空白地域を埋めるためM&Aを進める。アジア圏に進出する多国籍企業に照準。(11面)

ソフトバンクの韓国DCと接続  
TIS/日本から運用

TISは、DCを活用した災害対策サービスでソフトバンクテレコムと協業する。TISのDCとソフトバンクが韓国・釜山近郊に持つDCを通信回線で接続。日本から運用や監視をする。(11面)

信越ポリマー、韓国企業と解消  
タッチパネル共同開発

信越ポリマーは、韓国の韓星エルコムテックとのタッチパネル事業に関する業務提携を解消した。フレキシブルガラスに透明導電フィルムを貼ったタッチパネルを共同開発する予定だった。(12面)

三井住友建設、工期半減15カ月  
ハノイの高架道路橋

三井住友建設は、ベトナムのハノイで工事を進めていた全長2キロ余りのブ

中国で工業用水25%節水  
PTA排水浄化/三菱ケミカル

三菱ケミカルHDは、事業会社で高純度テレフタル酸(PTA)製造プラントの排水を、水処理膜で浄化して再利用するシステムを本格展開。中国で導入、工業用水を約25%削減した。(16面)

10月30日(火)  
中国で紙幣還流ユニット2倍  
富士通フロンテック/ATM搭載

富士通フロンテックは、中国で、ATMに搭載する「ボケット式」紙幣還流ユニットの販売を2014年度までに2倍強の7000台に増やす。中国では偽札が多く出回り、それを排除するため。(10面)

岡谷鋼機、浙江省に製造拠点  
産業用パイプ/年800トン

岡谷鋼機は、浙江省に自動車用や産業用のパイプ製造会社「浙江岡新制管」を設立し、2014年1月に稼働する。年間約800トンを生産する。日系や外資の自動車や農業機械向け。(12面)

中国や東南アで人材確保  
エバラ食品/進出国のニーズ探る

エバラ食品工業は、中国や東南アジアで人材の確保に乗り出す。事業展開している中国に加え、進出予定のシンガポ

ルやタイ、インドネシアで人材採用。進出国の実情に合わせ市場開拓。(17面)

10月31日(水)  
電解二酸化マンガンの関税調査  
中国原産など/東ソー申請

財務省と経済産業省は、東ソーが申請した電解二酸化マンガンのアンチダンピング関税措置の延長について調査を始める。対象原産地は中国、南アフリカ、スペインの3カ国。(2面)

11月1日(木)  
中国減産、部品を直撃  
今期、下方修正相次ぐ

自動車部品各社の業績に、中国での日本車減産の影響が広がる。トヨタグループのデンソーなどは、通期見通しを売上高、各利益とも下方修正。ホンダ系でも中国事業の下方修正が相次ぐ。(5面)

11月2日(金)  
中国富裕層向けEC出店支援  
フューチャースピリッツ

フューチャースピリッツなど国内の電子商取引関連3社が出資する東方Eモールは、上海浦東発展銀行と提携した。中

今回は -  
12日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジアダイジェスト」面の今回は19日(月)に掲載します。

国の富裕層向けECモールへの出店支援を行う。(9面)

江蘇リースと提携  
三井住友信託/代金回収リスク低減

三井住友信託銀行は、中国の中堅リース「江蘇金融租賃」と販売金融事業で提携。中国リース会社を仲介することで代金回収のリスクを低減、日系企業の現地での営業展開を後押しする。(15面)

ひと  
落書きお札が出回らないように  
「ATMも価格競争の時代。それでも中国の伸びしろは大きく、まだ参入の余地はある」と富士通フロンテック経営執行役常務の今村洋さん。紙幣還流ユニットは「雑に扱われたお札を読み取る。落書きされたお札が出回らないようにもできる」と付加価値で勝負。(1日=10面)

11月2日(金)  
クボタ、タイ工場「2直」体制  
ディーゼル増産/人員倍増

クボタは、タイの立型ディーゼルエンジン工場の勤務体系を昼だけの「1直」から、昼夜2交代の「2直」に2013年6月をめどに切り替える。製造部門の人員を約2倍の300人規模に増員。(5面)

太平洋工業、タイに新棟  
自動車用樹脂部品

太平洋工業は、タイ工場に新工場棟を建設する。2013年5月に完成し、チュープレスタイヤバルブを生産する。ホイールキャップやセンターオーナメントなどタイ工場初の樹脂部品も生産。(5面)

ゼネコン、ミャンマー進出再開  
中国リスク後押し

ゼネコンが、ミャンマー進出へと動く。清水建設は13年ぶりにヤンゴン事務所を再開。西松建設が新たに営業許可申請。中国リスクが後押し。大手・準大手が市場調査に乗り出した。(11面)

イオン、アセアン本社始動  
マレーシアに設立/アジア展開加速

イオンは、ASEAN地域のグループ事業を統括する「イオングループアセアン本社」の営業を開始した。マレーシアに設立。マレーシア、タイに続きベトナム、ミャンマーの事業を推進。(13面)

イオン、カルフルの事業買収  
マレーシア26店/151億円

イオンは、仏の小売業大手、カルフルのマレーシア事業を買収した。取得金額は約151億円。カルフルはマレーシアで大型のディスカウントストア、ハイパーマーケットを26店運営。(13面)

大和軽合金、ベトナム増強  
アルミ合金部品/発電機・農機向け


大和軽合金工業は、ベトナム工場を増強する。ダイカストマシン2台以上を導入し、アルミ合金部品の生産能力を約2倍の月10万台に引き上げる。発電機、農機など日系メーカー向け。(23面)

ひと  
サプライチェーン全体を支える  
「トランザクションバンキング業務はアジアの日系企業向け収益の約4割を占め、戦略分野と位置づけている」と語る三菱東京UFJ銀行頭取の平野信行さん。「ニーズに合った商品とサプライチェーン全体を支えるソリューションの提供が重要」と強調する。(31日=21面)




企業 **モノ・チャネル**

固有の技術と製品で存在感を示す日本のものづくり企業。各社各様の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。



特集 **モノ・チャネル**

ものづくりを取り巻くさまざまな切り口でお役立ちコンテンツを掲載。話題のイベントや業界界などにスポットを当てた企画や、ビジネスの動きが読み取れます。



読み物 **モノ・チャネル**

インタビュー、レポート、コラム...ものづくりに関する最新の視点と、課題を語るタチや現場、現場に即した1回読め切りの記事のなかには、発見と学びの宝のヒントが隠れています。




教育イベント **モノ・チャネル**

ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。開催イベントを含む情報入手を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。



専門・技術 **モノ・チャネル**

ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したポイント解説で、貴社のインテンションが深まります。



地域 **モノ・チャネル**

全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業など、その地域ならではの個性派企業が見つかります。